

提携米通信

2016年正月号・黒瀬農舎



謹賀新年 この一年のご健康をお祈りいたします。

皆様ご家族お揃いで素敵な新年をお迎え下さったことと存じます。旧年中は、我が農舎のお米作りに格別なご支援を頂きありがとうございました。我が家も家族7人お陰さまで、元気に新年を迎えることができました。

ところで、旧暦の10月頃の春のような暖かい日を「小春日和」と呼ばれてるようですが、北国の日本海側にある秋田では、稲刈りが終わるか終わらないうちにミゾレから雪に変わり「小春日和」を愉しむことは

例年では、ほとんどありません。

しかし、裏日本に暮らす私たちも、去年の秋から暮にかけては、「小春日和」を十分過ぎるほど堪能しています。

その上クリスマスが来てもまだ初雪がなく、春のような暖かい陽射しが降り注ぐ日も多く、道路沿いのグリーンベルトの菜の花が所々狂い咲きしています。

この陽気、その原因は地球規模の「異常気象」と報じられています。

でも、一転して記録的な大雪や寒波になる恐れが多いこの不順気候は、自然相手の仕事をしている私たちにとっては、心落ち着かない日々です。

ところで、本来の秋田の冬は、1週間も、2週間も一度も太陽が顔を出さず、地吹雪で5分先も見えない。車は走れるが、不用意に車から降りると滑って転ぶアイスバーン。家に閉じ籠っていると気が滅入りますが、除雪作業や雪遊びなど厳寒の屋外で体を動かすと、寒さも吹っ飛び気分爽快になります。

これから2月末までの間、天気予報などを見て、当地に雪が降れば、秋田の冬を体験にご家族でロッジをお訪ね下さい。（お米ご利用のご家族に限定）

一面の広大な雪原をスノーモービルやモービルに雪ソリを連結して走りまわれば、きっとあなたのお子さんは大喜びなさるでしょう。ロッジ宿泊もモービルも無料解放です。小型モービルは年式の古い中古を10分の1程度で手に入れ、作業の合間に自前で車体やエンジンをレストア。すべて完了させ2機共に快調です。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



★お餅のご利用ありがとうございます。保存は、開封しない限り常温でOKです。
★袋のピンホールでカビが出た時はご連絡下さい。賞味期限内は交換や返金します。
★贈答や旅行などで、お米が余った時はパスや減量のご連絡を遠慮なくどうぞ。

E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#) 検索

★黒瀬農舎からの返信メールが自動的に迷惑メールフォルダに分類されていることがあるようです。返信のメールが届かない場合は迷惑メールフォルダの確認やメールの設定をご確認下さい。

★宅配便運賃の値上がりに伴い、複数の運送会社を使うことに致しました。そのため、出荷日/サイズ/お届け先によっては、以前(前回)と運送会社が異なることがあります。ご了承下さい。

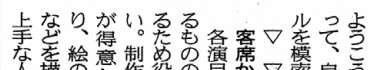
文 化

「喜多」が長年取り組んで来た人形劇のことが、昨年十二月初めに日経新聞の文化欄に取り上げられました。少し小さくて読み難く恐縮ですがご覧下さい。

秋田の湖にちなむ大男の伝説、八郎太郎の舞台として知られる八郎瀧。種喜湖に次ぐ大きさを誇った湖では戦後、米の増産を目的に国の干拓事業が進められた。1964年に現在の大瀧村が発足。その後も干拓は続き、最終的に湖の面積は約2・2万坪になった。現在は約3200人が暮らしている。

その大瀧村の入植者によって「大瀧村人形劇同好会 八郎」がつくられたのは77年のことだ。子育て盛りのお母さんが集った会で、現在のメンバーは10人ほど。毎年、農閑期に入る11月から練習を始め、2〜3月に村の幼稚園や保育園、高齢者施設で手作りの人形劇を上演する。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。



小学校で「八郎太郎ものがたり」を上演

よつこうしよう話合って、自分たちのスタイルを模索してきた。

各演目にはまり役はあつて、無理せず続けるための役は固定していない。制作では、人形作りが得意な人は人形を作り、絵の得意な人は背景などを描く。書くことが上手な人は脚本を作る。

入植者は67年の第1次56人。入植者は67年の第1次56人。入植者は67年の第1次56人。

50年前の入植から始まった村は、次代に何を残してゆけるだろう。私の思いとしては、大瀧村で暮らすのもちろん、八郎太郎に関わる文化を残したい。

「大瀧村干拓博物館」では、メンバーが制作した八郎太郎ものがたりのスライド劇を見ることが出来る。そんな活動の積み重ねが、少しでも地域への恩返しになればと思う。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

紙芝居など試行錯誤当初は読み聞かせをする親子の読書会だったが、子どもがもっとお話の世界に入り込める、インパクトのある伝え方はないものか。聞かせる相手も我が子以外へと広げたい、と募る思い。紙芝居なども試しつつ、人形劇はどうだろうかとひらめいた。こころをこめたい。こころをこめたい。こころをこめたい。

母の人形劇干拓の村潤す

◇大瀧村の入植者で同好会38年、子に地域文化を伝承◇

黒瀬 喜多



人生の節目を人形劇の活動とともに思い出す。子どもの受験や親の介護なども、練習に参加できない時期もあった。私が主人公をもつたある年には思わぬ入院となつてしまい、急ぎよ他の人が担当してくれた。2000年、08年には大瀧村の村長を務め、上演に関わることができなかった。それでも40年近く続いているのは、子どもの声援はもちろんだ、思いをひとつに助け合って活動してきた仲間との、大切な場所だ。

50年前の入植から始まった村は、次代に何を残してゆけるだろう。私の思いとしては、大瀧村で暮らすのもちろん、八郎太郎に関わる文化を残したい。

「大瀧村干拓博物館」では、メンバーが制作した八郎太郎ものがたりのスライド劇を見ることが出来る。そんな活動の積み重ねが、少しでも地域への恩返しになればと思う。